機能ID	機能名称			機能要件	実装区分			適合基準日
	大分類	中分類	小分類		指定都市	中核市	一般市区町村	
0040050	1　管理項目	1.2　異動履歴データ	1.2.2　異動事由	システムが管理する異動事由コード及び付随する区分により、以下の区分が行えること。 また、以下の区分からシステムが管理する異動事由コード及び付随する区分にマッピングができること。 異動事由は、以下のとおり区分すること。 （別表第二の機能ID0040050の項の項目詳細の欄を参照）	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0040051	1　管理項目	1.3　その他の管理項目	1.3.1　入力場所・入力端末	システムログや証明書発行管理に使用するため、戸籍附票システムを使用する場所として、本庁、支所、出張所、戸籍附票システム利用課等の入力場所及び入力端末等の登録管理ができること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0040052	1　管理項目	1.3　その他の管理項目	1.3.1　入力場所・入力端末	指定都市においては、行政区を管理できること。	◎	―	―	令和8年4月1日
0040053	1　管理項目	1.3　その他の管理項目	1.3.2　住所辞書管理	必要に応じ速やかに、最新の住所情報に更新すること。国名又は地域名については、毎年、最新の情報に更新すること。ただし、住所等の（旧）町名等を入力できること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0040054	1　管理項目	1.3　その他の管理項目	1.3.2　住所辞書管理	住所情報は、職員でも容易に修正できること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0040055	1　管理項目	1.3　その他の管理項目	1.3.2　住所辞書管理	住所辞書については全国的に提供されるものを使用し、都道府県市区町村コード、町字コード及び国名コードは基本データリスト（地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第七条第一項に規定する各地方公共団体情報システムに共通する基準のうち電磁的記録において用いられる用語及び符号の相互運用性の確保その他の地方公共団体情報システムに係る互換性の確保に関する標準を定める命令第2条第4号に規定する基本データリストをいう。以下同じ。）に従うこと。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0040056	1　管理項目	1.3　その他の管理項目	1.3.2　住所辞書管理	住所カナ入力（例えば、東京都日野市神明の場合であれば、「ト　ヒ　シ」のように、住所の頭の数文字を入力することをいう。）をすることで、郵便番号及び住所が自動で入力されること。また、郵便番号を入力することで、住所が自動で入力されること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0040057	1　管理項目	1.3　その他の管理項目	1.3.2　住所辞書管理	住所及び本籍について都道府県名→市区町村名→大字→小字の順に一覧表から順番に選択していくことで住所辞書からの引用ができること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0040058	1　管理項目	1.3　その他の管理項目	1.3.3　和暦・西暦管理	和暦と西暦の対応及び変換のためのマスタ情報を管理できること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0040059	1　管理項目	1.3　その他の管理項目	1.3.3　和暦・西暦管理	元号が改正された場合、パラメータ設定による元号変更対応ができること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0040060	1　管理項目	1.3　その他の管理項目	1.3.4　公印管理	市区町村長及び職務代理者の公印を管理できること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0040061	1　管理項目	1.3　その他の管理項目	1.3.4　公印管理	指定都市の場合は、上記に他区長及びその職務代理者の公印を管理できることも含む。	◎	―	―	令和8年4月1日
0040062	1　管理項目	1.3　その他の管理項目	1.3.5　交付履歴の管理	1.1.1（戸籍の附票データの管理）に規定する証明書の交付履歴（20.1.1（戸籍の附票の写し）、20.1.2（戸籍の附票の除票の写し））は、市区町村が定める期間、以下の項目を管理すること。 （別表第二の機能ID0040062の項の項目詳細の欄を参照） また、上記交付履歴の項目について、コンビニで交付された場合も同様に管理すること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日